

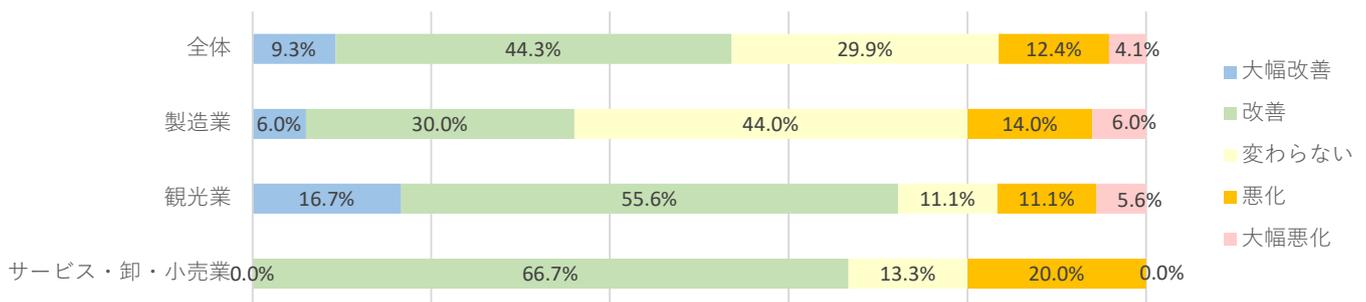
令和6年春の「県内企業経営状況調査」の結果について

調査期間：令和6年5月13日（月）～令和6年5月29日（水）

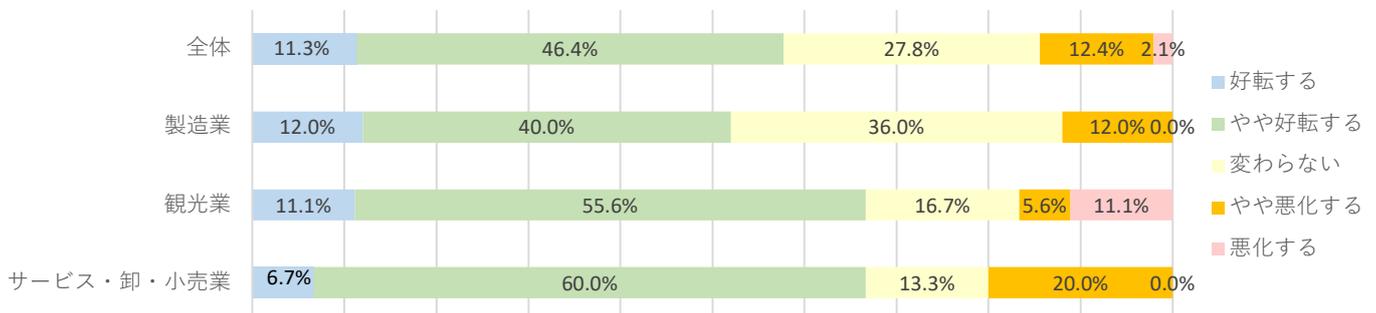
回答企業数：97者

※観光業：宿泊・観光施設・旅行・飲食・イベント業

1 現在の景況感（前年同期比）



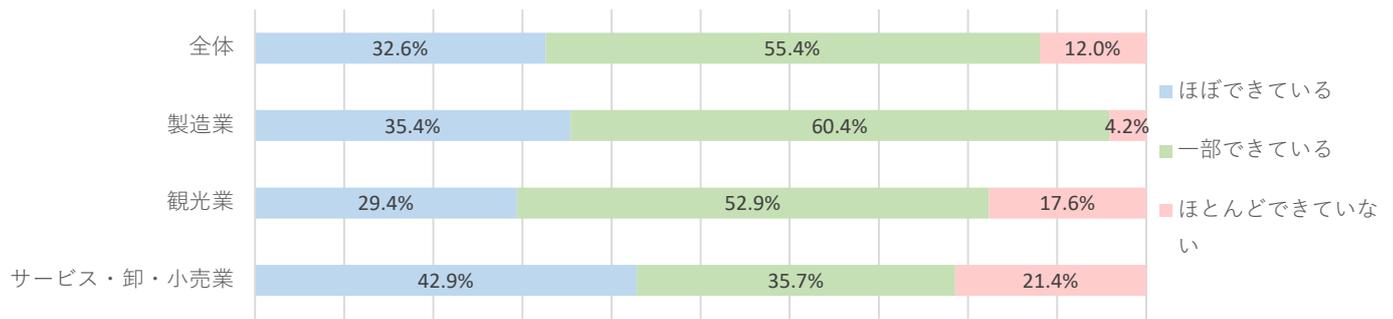
2 今後の業況の見通し



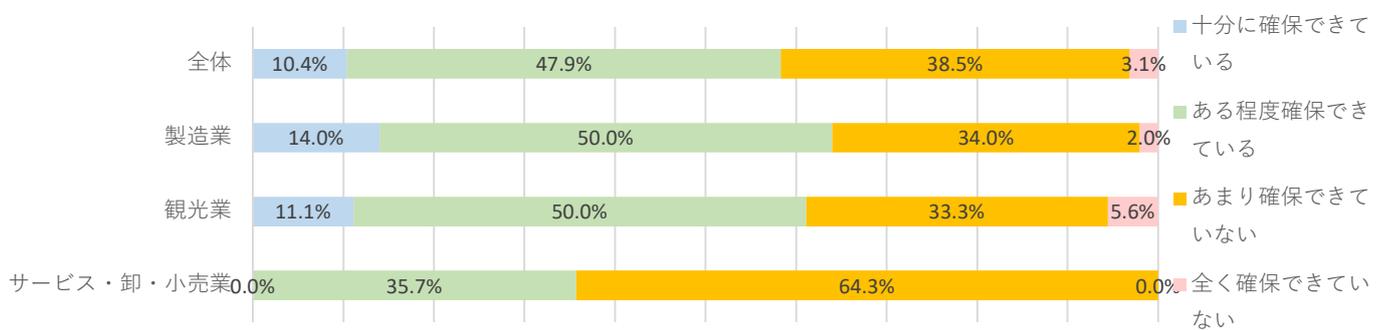
3 経営を圧迫している要因（複数回答可）

	全体	製造業	観光業	サービス・卸・小売業
a 原材料・仕入れ価格の上昇	57.7%	78.0%	61.1%	26.7%
b 燃料・エネルギー価格の上昇	63.9%	70.0%	61.1%	46.7%
c 為替相場（円安）の影響	27.8%	34.0%	33.3%	6.7%
d 人件費の上昇（最賃）	23.7%	24.0%	16.7%	26.7%
e 人件費の上昇（最賃以外）	41.2%	48.0%	27.8%	46.7%
f 新型コロナウイルス関連融資の返済	3.1%	0.0%	16.7%	0.0%
g その他	22.7%	22.0%	16.7%	20.0%

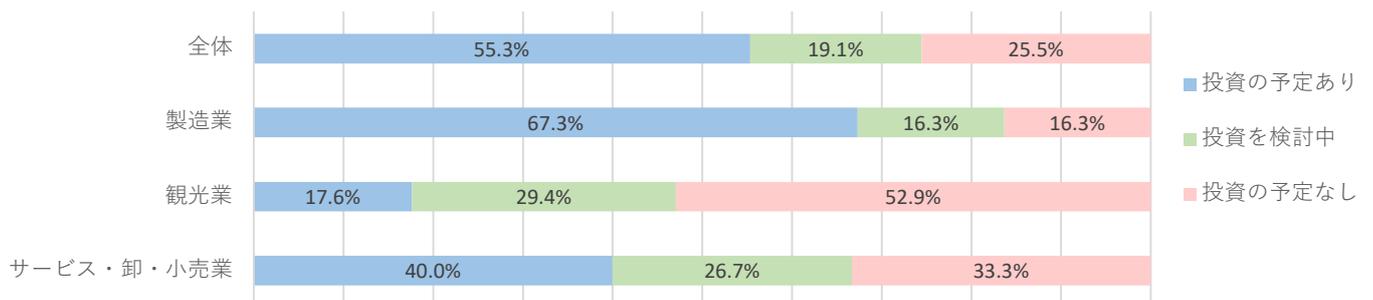
4 価格転嫁の状況



5 人材確保の状況



6 設備投資の予定



行政機関に期待する施策やご意見

<製造業>

県内の人口増加が必要。採用はじめ、全てに繋がってくる。
子育て支援、魅力度アップ等いろんなアプローチしてほしい。

各企業などが実施するカーボンニュートラルの施策を自治体としてPRしてほしい。
雇用を見込んだ助成を含めた設備増強の補助金支援を実施してほしい。

初期投資の補助金制度。人材育成(コンソーシアム)を活用した、地元高専からの就職率向上の取組。
設備保全技能者の確保に向けた、専門的カリキュラムの導入(高校、大学)

バッテリーバレイ構想が県民の方に広く認知してもらえるよう、動画やパンフレット等で周知が必要。特に学生に認識してもらいたい。

設備投資への補助金や、輸出拡大に向けた支援を今後もお願いしたい。

県外及び海外で展示会の開催や販路拡大を行うための補助。

<サービス・卸・小売業>

補助金の申請等をもっと簡単にできるようにしてほしい。

観光客の徳島県東部エリアでの滞在時間が短い。西部南部だけでなく東部もPRを。

インバウンド需要が弱い。海外定期便ができれば集客が見込める。

徳島に来てもらえる人を増やす仕組み作りを期待する。

<宿泊業、飲食業、観光・イベント関連サービス業>

インフラの整備が最優先ではないか。インバウンドを含め、観光客を呼び込むには交通インフラの充実が必要。

インバウンド向けの取組はありがたいが、国内向けの観光PRはもっと大事。
「徳島」「阿波」を浸透させることに注力されたい。

人口減少の中、事業を継続していくには、観光客を呼び寄せる必要がある。魅力発信やインバウンドなどにさらに取り組んでいただきたい。

<運輸業>

経営上燃料代の占める割合が多いので、エネルギー関係の施策をお願いしたい。

2024年問題に関連して、荷主による運賃への適正な価格転嫁をして欲しい。